

学校経営方針

西宮市立春風小学校

1. 学校経営方針

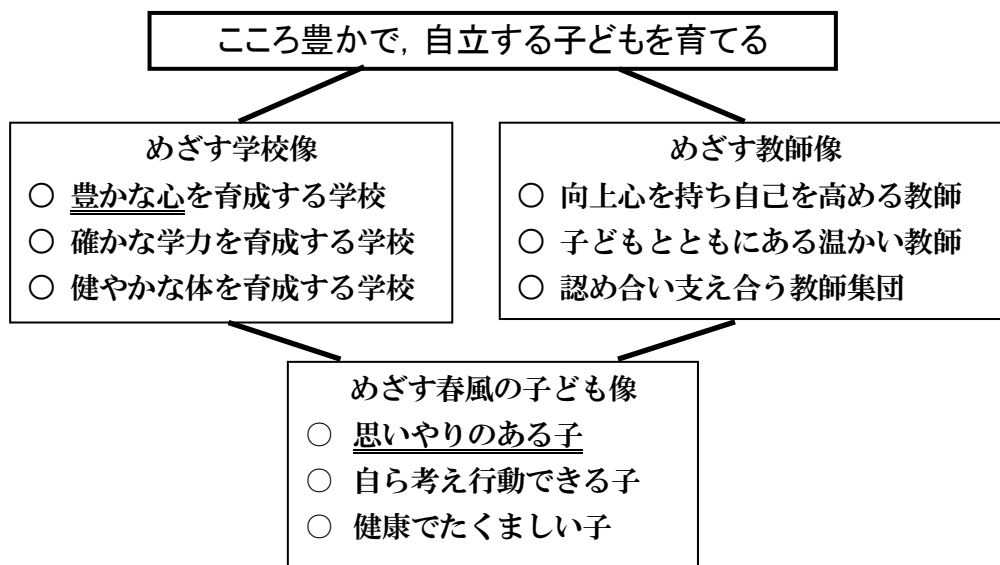
教育の主体は、子どもである。春風小学校の良き伝統を引き継ぎながら、健康や安全に気を付け、常に子どもを中心に据えて教育活動に取り組んでいきたいと考える。

本校の学校教育目標は、「一人ひとりが自ら考え判断しながら、未来を生き抜くための力を身につけ、心豊かな優しさあふれる人に育ってほしい」という願いを込めている。家庭や地域との連携・協力をよりいっそう深めながら、特色ある学校づくり、保護者・地域に開かれた学校づくりを積極的に推進するとともに教職員相互の研鑽をさらに深め、創造的な教育活動を展開したい。

2. 学校教育目標

こころ豊かで、自立する子どもを育てる

3. めざす学校像・教師像、春風の子ども像



4. 学校経営の重点

(1) 豊かな心を育成する学校

- 豊かな心や生きる力を育む教育の推進
 - ・ 友だちを思いやり、大切に作る心を育てる。
 - ・ 体験活動を通して、感動体験を増やし、生きる力を育む。
 - ・ 児童会活動、異学年交流、など児童の主体性を育む特別活動の充実を図る。
- 人権の尊重、生命の尊厳、共生の視点に立った教育実践
 - ・ インクルーシブ教育の視点に立ち、子どもに寄り添い、子どもの心に響く指導を心がける。
 - ・ 自他の生命・人権・人格を大切に作る心を育成する道徳教育や人権教育を推進する。

(2) 確かな学力を育成する学校

- 学ぶ意欲・学ぶ喜び・わかる楽しさが実感できる授業の創造
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの手法を取り入れた授業を展開する。
 - ・ 「基礎的な知識・技能」と「思考力、判断力、表現力」のバランスがとれた授業を行う。
 - ・ カリキュラム・マネジメントに取り組み、教育活動の質の向上に取り組む。

(3) 健やかな体を育成する学校

- 健康で安全・安心な学校生活の推進
 - ・ ルールを守り、誰もが安全で安心な学校生活が送れるよう指導する。
 - ・ けがや病気を防ぎ、明るく健康で学校生活が送れるよう指導する。
 - ・ 保護者・地域と連携を密にして、安全で安心な学校づくりを積極的に推進する。

(4) 地域と共にある学校

- 地域や家庭の教育力を導入した教育活動の推進
 - ・ 学校行事・図書館・園芸等に保護者や地域のボランティアを導入する。
- 学校運営協議会や家庭との連携の推進
 - ・ 学校便り、ホームページなどで、学校の情報を積極的に発信し、課題の共有や教育活動への参画意識の向上を図り、信頼される学校づくりを推進する。
- 近隣の学校園との教育連携の推進
 - ・ 校種間連携を推進し、相互理解とつながりのある教育活動を推進する。

(5) 教師としての使命の自覚と専門性の深化

- 学校研究の充実による指導力の向上
 - ・ 研究テーマのもと、授業研究を中心とした学校研究に取り組む。
- 教職員組織の活性化
 - ・ 認め合い支え合い、協働体制がとれる教職員集団の構築を図る。
 - ・ 複数対応の励行 時系列記録の記載 校長・教頭・学年への報告・連絡・相談
 - ・ 子どもと子ども、子どもと教師、教師と保護者、教師と教師、それぞれのつながりを大切にする。特に保護者の思いに耳を傾ける姿勢を大切にする。
 - ・ 働き方を見直し、勤務時間の適正化を図り、教材研究や子どもに向き合う時間を確保する等効果的な教育活動を推進する。(紙面配付の削減、計画的な教育実践)
 - ・ 日常的にあいさつを意識化させる。(自分から進んであいさつできる子どもを目指す。)
- 学年・学級経営の充実
 - ・ 子ども一人一人に向き合い、児童が安心して生活できる学級経営を展開する。
 - ・ 教職員の同僚性を高め、個々の課題を共有し、健全な児童の育成に組織的に取り組む。
- 児童理解に基づいた生活指導の充実
 - ・ 児童理解や学級経営に関する交流会や研修会を充実する。
 - ・ 積極的に関係機関と連携し、問題行動や不登校児童への対応等に工夫して取り組む。